

Oracle® Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0

Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュールの
補足マニュアル



Copyright © 2010, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複製、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS. Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, duplication, disclosure, modification, and adaptation shall be subject to the restrictions and license terms set forth in the applicable Government contract, and, to the extent applicable by the terms of the Government contract, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software License (December 2007). Oracle America, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このソフトウェアもしくはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアもしくはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション(人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む)への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する際、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性(redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したこと起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

Oracle と Java は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

AMD, Opteron, AMD ロゴ, AMD Opteron ロゴは, Advanced Micro Devices, Inc. の商標または登録商標です。Intel, Intel Xeon は, Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC の商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc. の商標または登録商標です。UNIX は X/Open Company, Ltd. からライセンスされている登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。



リサイクル
してください



Adobe PostScript

目次

このマニュアルの使用方法 v

1. ILOM 3.0 の機能セット 1

ILOM の概要 1

ILOM 3.0 の共通機能セットとサーバー固有の機能 1

ILOM 3.0 共通機能セットのマニュアルセット 2

2. ILOM の Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュール対応プラットフォーム機能 3

サポートされるサーバーのファームウェア 4

サーバーの集中管理のための Hardware Management Pack 4

サポート情報の表示と Hardware Management Pack ソフトウェアのダウンロード 6

Hardware Management Pack のドキュメント 7

ILOM サイドバンド管理 7

サイドバンド管理に関する注意事項 8

▼ Web インタフェースを使用したサイドバンド管理の設定 8

▼ CLI を使用したサイドバンド管理の設定 9

▼ ホスト BIOS 設定ユーティリティを使用したサイドバンド管理の設定 11

SP とホストコンソール間のシリアルポート出力の切り替え 15

▼ Web インタフェースを使用したシリアルポート出力の切り替え 15

▼ CLI を使用したシリアルポート出力の切り替え 17

サーバーおよび CMM 障害の消去	17
センサーとインジケータに関する参照情報	18
温度センサー	19
ファンセンサー	19
FEM および ESM センサー	19
電源装置センサー	20
エンティティ存在センサー	20
システムインジケータ	21
SNMP および PET メッセージの参照情報	22
SNMP トラップ	22
PET イベントメッセージ	26
索引	35

このマニュアルの使用方法

この『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 補足マニュアル』には、Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュールに固有の ILOM 3.0 ファームウェアについての情報が記載されています。

ILOM 3.0 とその機能の詳細、およびユーザーが行う作業の手順については、ILOM 3.0 マニュアルセットを参照してください。これらのマニュアルは [vii ページの「関連ドキュメント」](#)に記載されており、<http://docs.sun.com/apps/docs/prod/int.lights.mgr30#hic> で入手できます。

注 – Oracle Integrated Lights Out Manager は、以前は Sun Integrated Lights Out Manager と呼ばれていました。

製品情報

Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュールについては、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.oracle.com/goto/x6270m2>

このサイトには、次の情報とダウンロードへのリンクがあります。

- 製品情報および仕様
- サポートされているオペレーティングシステム
- ソフトウェアとファームウェアのダウンロード
- サポートされているオプションカード
- サポートされている Network Express Module
- 外部ストレージオプション
- Tools and Drivers DVD イメージ
- Sun Installation Assistant DVD イメージ
- Sun VTS イメージ
- システムハンドブック

関連ドキュメント

次の表に記載されているドキュメントは、次の Web サイトから入手できます。

<http://docs.sun.com/app/docs/prod/blade.x6270m2#hic>

タイトル	コンテンツ	Part No.	形式
『Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュールご使用にあたって』	サーバーモジュールに関する最新情報	821-2400	PDF HTML
『Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュールご使用の手引き』	サーバーモジュールの設定に関する基本的な設置情報	821-0494	PDF 印刷
『Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュール設置マニュアル』	サーバーモジュールを設定するための詳細なインストール情報	821-2391	PDF HTML 印刷物
『Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュール Linux、仮想マシンソフトウェア、および Oracle Solaris オペレーティングシステムインストールガイド』	Linux、Oracle、VM、VMware、および Oracle Solaris オペレーティングシステムのインストール手順	821-2394	PDF HTML
『Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュール Windows オペレーティングシステムインストールガイド』	Windows Server オペレーティングシステムのインストール手順	821-2397	PDF HTML
『Sun Installation Assistant 2.3 through 2.4 User’s Guide for x64 Systems』	Sun Installation Assistant (SIA) を使用して Windows または Linux オペレーティングシステムをインストールする手順	821-0694	PDF HTML
『Sun Blade X6270 M2 Server Module Service Manual』	サーバーモジュールを管理およびアップグレードするための情報および手順	821-0499	PDF HTML
『Sun Server CLI ツールおよび IPMItool 2.0 ユーザーズガイド』	CLI ツールおよび IPMItool のインストール、設定、使用に関する情報	821-1600	PDF HTML
『Sun x86 サーバー診断ガイド』	Oracle の x86 サーバーに付属する診断ソフトウェアツールの使用方法に関する情報	820-6750	PDF HTML

タイトル	コンテンツ	Part No.	形式
Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 マニュアルセット (以前の Sun Integrated Lights Out Manager マニュアルセット)	ILOM 3.0 をサポートするサーバーとおよびサーバーモジュールに共通の ILOM 機能とタスクについてのドキュメント	820-7382	PDF
		820-7370	HTML
		820-7373	
		820-7376	
	820-7379		
『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 補足マニュアル Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュール』	Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュールに固有の ILOM 情報	821-2403	PDF HTML
Sun ハードウェアシステムの重要な安全性に関する情報	すべての Sun ハードウェアシステムについての、多言語対応ハードウェアの安全性とコンプライアンスに関する情報	821-1590	印刷

これらのドキュメントの一部については、この表の上に記載されている Web サイトで翻訳版が入手可能です。英語版は頻繁に改訂されており、翻訳版よりも最新の情報が記載されています。

マニュアル、サポート、およびトレーニング

これらの Web サイトでは追加リソースを提供しています。

- マニュアル <http://docs.sun.com/>
- サポート <http://www.sun.com/support/>
- トレーニング <http://www.sun.com/training/>

表記上の規則

書体または記号*	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例。	.login ファイルを編集します。 ls -a を実行します。 % You have mail.
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して表します。	% su Password:
<i>AaBbCc123</i>	コマンド行の可変部分。実際の名前や値と置き換えてください。	rm filename と入力します。
『 』	参照する書名を示します。	『Solaris ユーザーマニュアル』
「 」	参照する章、節、または、強調する語を示します。	第 6 章「データの管理」を参照。 この操作ができるのは「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	% grep `^#define ` XV_VERSION_STRING`

* 使用しているブラウザにより、これらの設定と異なって表示される場合があります。

ドキュメントのフィードバック

本書に関するご意見をお待ちしております。コメントは <http://docs.sun.com> の「Feedback[+]」リンクをクリックしてお送りください。ご意見をお寄せいただく際には、下記のタイトルと Part No. を記載してください。

『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 補足マニュアル Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュール』、Part No. 821-2403-10。

製品のダウンロード

最新のソフトウェア製品をダウンロードするには、次の Web サイトにアクセスしてください。

<http://www.oracle.com/goto/x6270m2>

このサイトには、次の情報とダウンロードへのリンクがあります。

- Tools and Drivers DVD イメージ
- Sun Installation Assistant DVD イメージ
- Sun Validation Test Suite (SunVTS) イメージ

第1章

ILOM 3.0 の機能セット

この章では、ILOM に関する概要を説明し、ILOM 3.0 で提供される ILOM の共通機能およびプラットフォーム固有の機能の目的を定義します。ここでは、次のトピックについて説明します。

- [1 ページの「ILOM の概要」](#)
 - [1 ページの「ILOM 3.0 の共通機能セットとサーバー固有の機能」](#)
 - [2 ページの「ILOM 3.0 共通機能セットのマニュアルセット」](#)

ILOM の概要

Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) は、Oracle のすべての x86 サーバーと一部の SPARC サーバーにプリインストールされているシステム管理ファームウェアです。ILOM を使用すると、サーバーにインストールされているコンポーネントをアクティブに管理および監視できます。ILOM には、SNMP や IPMI のインタフェースのほかに、ブラウザベースのインタフェースやコマンド行インタフェースがあります。

ILOM 3.0 の共通機能セットとサーバー固有の機能

Oracle の Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュールは、ILOM 3.0 が提供する ILOM 機能セット全体をサポートしています。さらに、Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュール固有の ILOM 機能もサポートしています。

すべてのサーバープラットフォームに共通する機能を使用する方法については、ILOM 3.0 マニュアルセットを参照してください。ILOM 3.0 マニュアルセットを構成するガイドについては、[2 ページの「ILOM 3.0 共通機能セットのマニュアルセット」](#)を参照してください。

Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュール固有の ILOM 機能を使用する方法については、[第 2 章](#)を参照してください。

ILOM 3.0 共通機能セットのマニュアルセット

表 1-1 に、Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 マニュアルセット (以前の Sun Integrated Lights Out Manager 3.0 マニュアルセット) に含まれているマニュアルを示します。すべてのサーバープラットフォームに共通の ILOM 機能の使用方法については、これらのガイドを参照してください。

表 1-1 ILOM 3.0 共通機能セットのマニュアルセット

タイトル	コンテンツ	Part No.
『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 機能更新およびリリースノート』	ILOM 3.0 以降の各リリースについて、このガイドには次の情報が記載されます。 <ul style="list-style-type: none">• ILOM 3.0.x の新しい機能• 既知の問題と回避方法• 修正済みの問題	821-0647
『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 入門ガイド』	このガイドでは、ILOM の使用を開始するためのセットアップと設定に関する使いやすい手順を説明します。	820-7382
『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 概念ガイド』	このガイドでは、ILOM 3.0 で利用可能なすべての共通機能の概念について説明します。	820-7370
『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 Web Interface 手順ガイド』	このガイドでは、ILOM 3.0 で利用可能な Web ベースの共通機能すべての使用手順を説明します。	820-7373
『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 CLI 手順ガイド』	このガイドでは、ILOM 3.0 で利用可能なコマンド行の共通機能すべての使用手順を説明します。	820-7376
『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 Management Protocols Reference Guide』	このガイドでは、次の管理プロトコルを使用する場合の ILOM 機能へのアクセスについて説明します。 <ul style="list-style-type: none">• SNMP• インテリジェントプラットフォーム管理インタフェース (Intelligent Platform Management Interface、IPMI)• Web Service Management (WS-Man) および Common Information Model (CIM)	820-6413

ILOM 3.0 マニュアルセットは、次の Web サイトで表示およびダウンロードできます。
<http://docs.sun.com/app/docs/prod/int.lights.mgr30#hic>

第2章

ILOM の Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュール対応プラットフォーム機能

ILOM 3.0 は多くのプラットフォーム上で動作し、すべてのプラットフォームに共通する機能をサポートしています。ILOM 3.0 機能の中には、すべてのプラットフォームではなく一部のプラットフォームでのみ使用できるものがあります。この章では、Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュール固有の機能について説明します。

すべてのサーバープラットフォームに共通する ILOM 機能の詳細については、[2 ページの「ILOM 3.0 共通機能セットのマニュアルセット」](#)で説明されている ILOM 3.0 マニュアルセットを参照してください。

この章で説明している Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュール固有の ILOM 機能は、次のとおりです。

- [4 ページの「サポートされるサーバーのファームウェア」](#)
- [4 ページの「サーバーの集中管理のための Hardware Management Pack」](#)
- [7 ページの「ILOM サイドバンド管理」](#)
- [15 ページの「SP とホストコンソール間のシリアルポート出力の切り替え」](#)
- [17 ページの「サーバーおよび CMM 障害の消去」](#)
- [18 ページの「センサーとインジケータに関する参照情報」](#)
- [22 ページの「SNMP および PET メッセージの参照情報」](#)

サポートされるサーバーのファームウェア

表 2-1 に、Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュールでサポートされている、ILOM および BIOS ファームウェアバージョンを示します。

表 2-1 サポートされるプラットフォームファームウェア

ILOM SP バージョン	ホスト BIOS バージョン	ILOM シャーシ管理モジュール (CMM) ファームウェア	該当するハードウェア
3.0.9.15.a	08.04.01	3.0.6.11.b (r48988) 以降のリリース	Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュール

サーバーのファームウェアを更新する方法については、次の Web サイトで ILOM 3.0 共通機能セットのマニュアルセットを参照してください。

<http://docs.sun.com/app/docs/prod/int.lights.mgr30#hic>

サーバーの集中管理のための Hardware Management Pack

Oracle の Sun Server Hardware Management Pack (Hardware Management Pack) は、ホストオペレーティングシステムから Oracle サーバーを管理および設定するためのツールを提供します。これらのツールを使用するには、サーバーに Hardware Management Pack ソフトウェアをインストールする必要があります。Hardware Management Pack ソフトウェアをインストールしたあと、表 2-2 に示すサーバーの管理作業を実行できるようになります。

表 2-2 Hardware Management Pack – サーバー管理タスク

ホスト OS から実行する サーバー管理作業*	Hardware Management Pack の実装	ツール
ホスト IP アドレスによる Oracle ハードウェアの監視	Hardware Management Agent および関連する簡易ネットワーク管理プロトコル (Simple Network Management Protocol, SNMP) プラグインをオペレーティングシステムレベルで使用して、Oracle ハードウェアの帯域内監視を有効にします。この帯域内監視機能では、ホストオペレーティングシステムの IP アドレスを使用して Oracle サーバーを監視できます。ILOM 管理ポートをネットワークに接続する必要はありません。	ホスト OS レベルの 管理ツール
ストレージデバイスの監視 (RAID アレイを含む)	Server Storage Management Agent をオペレーティングシステムレベルで使用して、Oracle サーバーで設定されたストレージデバイスの帯域内監視を有効にします。Server Storage Management Agent は、サーバーのハードディスクドライブ (Hard Disk Drive, HDD) や RAID アレイなどのストレージデバイスに関する情報を収集するオペレーティングシステムデーモンを備え、この情報を ILOM サービスプロセッサに送信します。ILOM のストレージ監視機能では、Server Storage Management Agent が提供する情報を表示および監視できます。ILOM のストレージ監視機能には、コマンド行インタフェース (Command-Line Interface, CLI) からアクセスできます。	ILOM 3.0 CLI スト レージ監視機能
BIOS CMOS の設定、デバイスの 起動順序、および一部の SP 設定の構成	ホストオペレーティングシステムから biosconfig CLI ツールを使用して、Oracle x86 サーバーの BIOS CMOS 設定、デバイスの起動順序、および一部のサービスプロセッサ (Service Processor, SP) の設定を構成します。	ホスト OS レベルの biosconfig CLI
サポートされる SAS ストレージ デバイスのファームウェアバー ジョンの照会、更新、および 検証	ホストオペレーティングシステムから fwupdate CLI ツールを使用して、サポートされるストレージデバイスのファームウェアバージョンを照会、更新、および検証します。サポートされるストレージデバイスには、SAS ホストアダプタ (Host Bus Adapter, HBA)、埋め込み SAS ストレージコントローラ、LSI SAS ストレージエクステンダ、ディスクドライブ (回転型メディアとフラッシュドライブ) などがあります。	ホスト OS レベルの fwupdate CLI
ILOM 設定の復元、設定、およ び表示	ホストオペレーティングシステムから ilomconfig CLI ツールを使用して、ILOM 設定の復元のほか、ネットワーク管理、クロック設定、およびユーザー管理に関連する ILOM プロパティの表示と設定を実行します。	ホスト OS レベルの ilomconfig CLI
*サポートされるホストオペレーティングシステム: Oracle Solaris, Linux, Windows, および VMware		

表 2-2 Hardware Management Pack – サーバー管理タスク (続き)

ホスト OS から実行する サーバー管理作業*	Hardware Management Pack の実装	ツール
ストレージドライブでの RAID ボリュームの表示または作成	ホストオペレーティングシステムから raidconfig CLI ツールを使用して、RAID コントローラに接続されたストレージドライブ (ストレージアレイを含む) で、RAID ボリュームを表示および作成します。	ホスト OS レベルの raidconfig CLI
IPMItool を使用した Oracle サーバーへのアクセスと管理	ホストオペレーティングシステムからオープンソースのコマンド行 IPMItool を使用して、IPMI プロトコルを通じて Oracle サーバーへのアクセスとサーバー管理を行います。	ホスト OS レベルのコマンド行 IMPItool

*サポートされるホストオペレーティングシステム: Oracle Solaris, Linux, Windows, および VMware

サポート情報の表示と Hardware Management Pack ソフトウェアのダウンロード

Hardware Management Pack ソフトウェアのサポート情報の表示、または Hardware Management Pack ソフトウェアのダウンロードについては、次の表を参照してください。

説明	URL
Hardware Management Pack のオペレーティングシステムおよびハードウェアに関するサポート情報の確認	http://www.sun.com/systemmanagement/management_pack_supportmatrix.jsp
Hardware Management Pack ソフトウェアのダウンロード	http://www.sun.com/systemmanagement/management_tools.jsp#management

Hardware Management Pack のドキュメント

Management Pack ソフトウェアのインストール手順、またはそのコンポーネントの使用方法については、次に示す Hardware Management Pack のドキュメントを参照してください。

- 『Sun Server Hardware Management Pack 2.0 ユーザーズガイド』 (821-2181)
- 『Sun Server Management Agents 2.0 ユーザーズガイド』 (821-2184)
- 『Sun Server CLI ツールおよび IPMItool 2.0 ユーザーズガイド』 (821-2187)

ILOM のストレージ監視機能の使用方法については、『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 機能更新およびリリースノート』 (820-7329) の第 4 章を参照してください。

SNMP または IPMI を通じてサーバーにアクセスして管理する方法については、『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 Management Protocols Reference Guide』 (820-6413) を参照してください。

ILOM サイドバンド管理

デフォルトでは、帯域外ネットワーク管理ポート (NET MGT) を使用して、サーバーのサービスプロセッサ (Service Processor, SP) に接続します。ILOM のサイドバンド管理機能を利用すると、NET MGT ポート、または帯域内ポートであるサーバーのギガビット Ethernet ポート (NET 0、1、2、3) のいずれかを選択して、サーバー SP との間で ILOM コマンドを送受信できます。帯域内ポートは、サイドバンドポートとも呼ばれます。

サーバーの SP を管理するためにサイドバンド管理ポートを使用すると、必要となるケーブル接続とネットワークスイッチポートの数が 1 つずつ減るというメリットがあります。データセンターなどの多数のサーバーを管理する構成では、サイドバンド管理により、ハードウェアおよびネットワークの使用量を大幅に節減できます。

サイドバンド管理は、Web インタフェース、コマンド行インタフェース (Command-Line Interface, CLI)、BIOS、または IPMI のいずれかを使用して設定できます。特別な注意事項と設定手順については、次に示す節を参照してください。

- [8 ページの「サイドバンド管理に関する注意事項」](#)
- [8 ページの「Web インタフェースを使用したサイドバンド管理の設定」](#)
- [9 ページの「CLI を使用したサイドバンド管理の設定」](#)
- [11 ページの「ホスト BIOS 設定ユーティリティを使用したサイドバンド管理の設定」](#)

サイドバンド管理に関する注意事項

ILOM でサイドバンド管理を有効化する場合、次の状況が発生する場合があります。

- SSH、Web、ILOM リモートコンソールなどのネットワーク接続を使用して SP に接続している状態で、SP 管理ポートの設定を変更すると、サーバー SP への接続が失われる場合があります。
- SP とホストオペレーティングシステム間のチップ内接続が、オンボードのホストギガビット Ethernet コントローラではサポートされないことがあります。この状況が発生した場合は、送信元ターゲットと宛先ターゲット間のトラフィックの転送に、L2 ブリッジング/スイッチングの代わりに別のポートまたは経路を使用します。
- サーバーホストの電源を入れ直すと、サイドバンド管理用に設定されている、サーバーのギガビット Ethernet ポート (NET 0、1、2、3) で、ネットワーク接続が短時間中断することがあります。この状況が発生した場合は、隣接するスイッチ/ブリッジのポートをホストポートとして設定します。

注 – ポートがスイッチポートとして設定されていて、Spanning Tree Protocol (STP) に参加している場合、スパニングツリーの再計算のため、機能停止が長引くことがあります。

▼ Web インタフェースを使用したサイドバンド管理の設定

1. ILOM Web インタフェースにログインします。
2. 「Configuration (設定)」 --> 「Network (ネットワーク)」を選択します。
「Network Settings (ネットワーク設定)」ページが表示されます。

System Information	System Monitoring	Power Management	Storage	Configuration	User Management	Remote Control	Maintenance		
System Management Access	Alert Management	Network	DNS	Serial Port	Clock	Timezone	Syslog	SMTP Client	Policy

Network Settings

View the MAC address and configure network settings for the Service Processor from this page. DHCP is the default mode, but you can manually configure a static IP Address, Netmask, and Gateway. You may also select which port you wish to use for managing this Service Processor.

State: Enabled

MAC Address: 00:21:28:57:1F:F8

Out Of Band MAC Address: 00:21:28:57:1F:F8

Sideband MAC Address: 00:21:28:57:1F:F9

Management Port:

IP Discovery Mode: DHCP Static

IP Address:

Netmask:

Gateway:

3. 「Network Settings (ネットワーク設定)」ページで、次の手順を実行します。
 - a. 「DHCP」を選択して IP アドレスを自動的に取得するか、「静的 (Static)」を選択して適切な IP アドレスを指定します。
 - b. サイドバンド管理ポートを選択するには、「管理ポート (Management Port)」ドロップダウンリストをクリックし、対象の管理ポートを選択します。
ドロップダウンリストを使用して、4 個のギガビット Ethernet ポートのいずれか、つまり /SYS/MB/NET n (n は 0 - 3) に変更することができます。デフォルトは、SP NET MGT ポート (/SYS/SP/NET0) です。
 - c. 変更を有効にするには、「保存 (Save)」をクリックします。

▼ CLI を使用したサイドバンド管理の設定

1. CLI を使用して、ILOM にログインします。

注 – シリアル接続でこの手順を使用すれば、サイドバンド管理設定の変更中に接続が失われることはありません。

2. シリアルポートを使用してログインした場合は、静的 IP アドレスを割り当てることができます。

手順は、『Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュール設置マニュアル』(821-2391) の IP アドレスの割り当てに関する情報を参照してください。

3. 現在のポート設定を表示するには、次のように入力します。

-> **show /SP/network**

ネットワークプロパティが表示されます。例:

```
/SP/network
Targets:
Properties:
  commitpending = (Cannot show property)
  dhcp_server_ip = none
  ipaddress = xx.xx.xx.xx
  ipdiscovery = static
  ipgateway = xx.xx.xx.xx
  ipnetmask = xx.xx.xx.xx
  macaddress = 11.11.11.11.11.86
  managementport = /SYS/SP/NET0
  outofbandmacaddress = 11.11.11.11.11.86
  pendingipaddress = xx.xx.xx.xx
  pendingipdiscovery = static
  pendingipgateway = xx.xx.xx.xx
  pendingipnetmask = xx.xx.xx.xx
  pendingmanagementport = /SYS/SP/NET0
  sidebandmacaddress = 11.11.11.11.11.87
  state = enabled
```

この出力例では、現在のアクティブな macaddress は SP の outofbandmacaddress と同じで、現在のアクティブな managementport はデフォルト (/SYS/SP/NET0) に設定されています。

4. SP 管理ポートをサイドバンドポートに設定するため、次のコマンドを入力します。

-> **set /SP/network pendingmanagementport=/SYS/MB/NET n**

n は、0、1、2、または 3 です。

-> **set commitpending=true**

5. 変更内容を確認するため、次を入力します。

-> **show /SP/network**

ネットワークプロパティーが表示され、変更が有効になったことが示されます。例:

```
/SP/network
Targets:
Properties:
  commitpending = (Cannot show property)
  dhcp_server_ip = none
  ipaddress = xx.xx.xx.xx
  ipdiscovery = static
  ipgateway = xx.xx.xx.xx
  ipnetmask = xx.xx.xx.xx
macaddress = 11.11.11.11.11.87
managementport = /SYS/MB/NETn
  outofbandmacaddress = 11.11.11.11.11.86
  pendingipaddress = xx.xx.xx.xx
  pendingipdiscovery = static
  pendingipgateway = xx.xx.xx.xx
  pendingipnetmask = xx.xx.xx.xx
pendingmanagementport = /SYS/MB/NETn
sidebandmacaddress = 11.11.11.11.11.87
  state = enabled
```

この出力例では、`macaddress` が `sidebandmacaddress` と一致し、`managementport` が `pendingmanagementport` と一致しています。

▼ ホスト BIOS 設定ユーティリティーを使用したサイドバンド管理の設定

次のインタフェースから BIOS 設定ユーティリティー画面にアクセスできます。

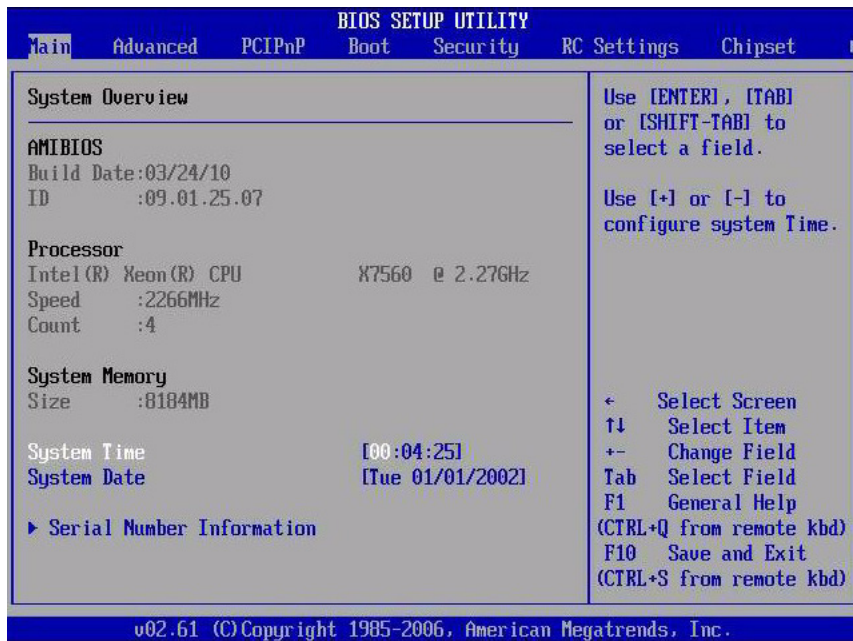
- サーバーに直接接続された USB キーボード、マウス、および VGA モニターを使用する。
- サーバーの背面パネルにあるシリアルポートを介して、端末またはコンピュータに接続された端末エミュレータを使用する。
- ILOM リモートコンソールを使用してサーバーに接続する。このインタフェースを使用するには、サーバーの IP アドレスがわかっている必要があります。

ホスト BIOS 設定ユーティリティを使用してサイドバンド管理を設定するには、次の手順を実行します。

1. サーバーの電源を投入または再投入します。
2. 電源投入時の自己診断テスト (Power-On Self-Test、POST) の間に F2 キーを押して、BIOS 設定ユーティリティを起動します。

```
Initializing USB Controllers .. Done.  
Press F2 to run Setup (CTRL+E on Remote Keyboard)  
Press F8 for BBS POPUP (CTRL+P on Remote Keyboard)  
Press F12 to boot from the network (CTRL+N on Remote Keyboard)
```

BIOS が起動すると、BIOS 設定ユーティリティのメインのトップレベル画面が表示されます。この画面には、上部に 7 つのメニューオプションがあります。



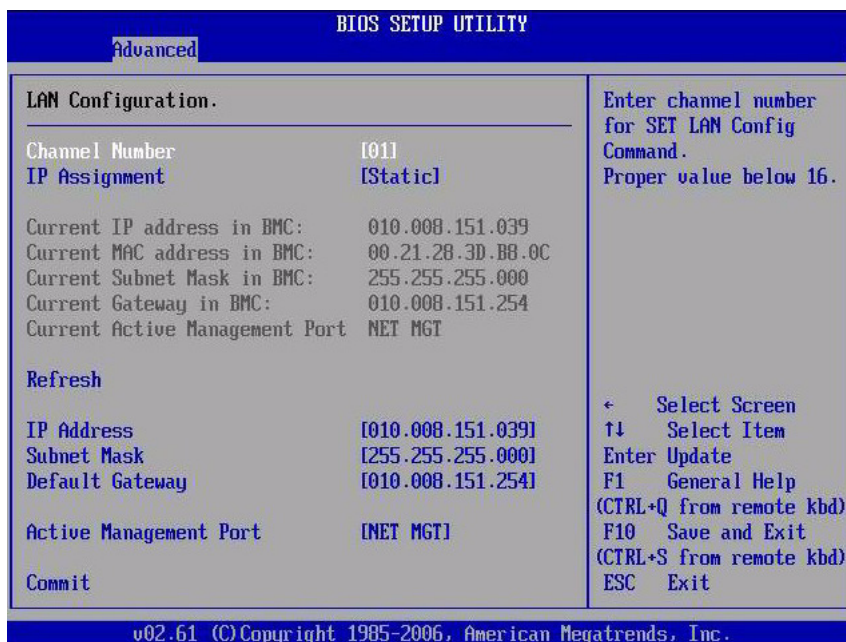
3. メイン画面で、「詳細 (Advanced)」 --> 「IPMI 設定 (IPMI Configuration)」を選択します。

「IPMI 2.0 設定 (IPMI 2.0 Configuration)」画面が表示されます。



4. 「IPMI 2.0 設定 (IPMI 2.0 Configuration)」画面で、「LAN 構成の設定 (Set LAN Configuration)」オプションを選択します。

「LAN 設定 (LAN Configuration)」画面が表示されます。



5. 「LAN 設定 (LAN Configuration)」画面で、次の手順を実行します。
- 左右の矢印キーを使用して、「IP の割り当て (IP Assignment)」オプションを選択し、「DHCP」に設定します。
 - 左右の矢印キーを使用して、「有効な管理ポート (Active Management Port)」オプションを選択し、ポートをサイドバンド管理ポート (NET0、NET1、NET2、NET3) に設定します。
NET MGT ポートがデフォルトです。
 - 「決定 (Commit)」を選択して、変更を有効にします。

SP とホストコンソール間のシリアルポート出力の切り替え

Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュールのシリアルポート出力を、SP コンソール (SER MGT) とホストコンソール (COM1) の間で切り替えることができます。デフォルトでは、SP コンソールがシステムのシリアルポートに接続されます。この機能を使用すると、ホストコンソールから ASCII 文字以外のトラフィックを表示できるため、Windows カーネルのデバッグに役立ちます。

ILOM Web インタフェースまたは ILOM コマンド行インタフェース (Command-Line Interface、CLI) のどちらかを使用して、シリアルポート出力を切り替えることができます。手順については、次の節を参照してください。

- [15 ページの「Web インタフェースを使用したシリアルポート出力の切り替え」](#)
- [17 ページの「CLI を使用したシリアルポート出力の切り替え」](#)



注意 – SP 上でネットワークを設定してから、シリアルポートの所有者をホストサーバーに切り替えるようにしてください。ネットワークが設定されていない状態でシリアルポートの所有者をホストサーバーに切り替えると、CLI または Web インタフェースを使用して接続できないため、シリアルポートの所有者を SP に戻すことができなくなります。この場合に、シリアルポートの所有者を SP に戻すには、ILOM の「Preboot」メニューを使用して、ネットワークを介してシリアルポートへのアクセスを復元する必要があります。詳細は、『Sun Blade X6270 M2 Server Module Service Manual』(821-0499) で、ILOM の「プリブート (Preboot)」メニューに関する情報を参照してください。

▼ Web インタフェースを使用したシリアルポート出力の切り替え


1. ILOM Web インタフェースにログインします。
2. 「設定 (Configuration)」 --> 「シリアルポート (Serial Port)」を選択します。
「シリアルポート設定 (Serial Port Settings)」ページが表示されます。

System Information	System Monitoring	Power Management	Storage	Configuration	
System Management Access	Alert Management	Network	DNS	Serial Port	Clock

Serial Port Settings

The Host Serial Port is the connection between the host server and the service processor that allows a service processor console port on the host server, often referred to as serial port 0, COM0, or /dev/ttyS0. The External Serial Port is the same speed to avoid flow control issues when connecting to the host console from the SP external serial port. See

Serial Port Sharing

 This setting controls whether the external serial port is electrically connected to the Host Server or the Service Processor. The setting will be that of the Host Server.

Owner:

Host Serial Port

 This setting must match the setting for Serial Port 0, COM1 or /dev/ttyS0 on the host operating system.

Baud Rate:

Flow Control:

External Serial Port

Baud Rate:

Flow Control:

- シリアルポートの所有者を選択するには、「所有者 (Owner)」ドロップダウンリストをクリックして、対象のシリアルポート所有者を選択します。
ドロップダウンで、「Service Processor」または「Host Server」のいずれかを選択します。
デフォルトでは「Service Processor」が選択されます。
- 「保存 (Save)」をクリックして変更を有効にします。

▼ CLI を使用したシリアルポート出力の切り替え

1. ILOM CLI にログインします。
2. シリアルポートの所有者を設定するには、次のように入力します。

```
-> set /SP/serial/portsharing/owner=host
```

デフォルトでは、owner=SP です。

サーバーおよび CMM 障害の消去

サーバーコンポーネントで障害が発生した場合は、サーバーがコンポーネント固有の障害を生成し、その障害を ILOM SP が収集します。一部の障害は、障害が発生したコンポーネントを交換するときに自動的にクリアされますが、ホットサービスに対応していないコンポーネントで生成された障害は、手動でクリアする必要があります。ILOM Web インタフェースまたはコマンド行インタフェース (Command-Line Interface、CLI) を使用して障害を手動でクリアできます。

Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュールでは、故障したコンポーネントを交換したあと、次の種類の障害を手動で消去する必要があります。

- ファブリック拡張モジュール (Fabric Expansion Module、FEM) の障害
- CPU の障害
- マザーボード障害 (マザーボードが交換されない場合)

ILOM の障害管理機能で収集されるその他の障害としては、シャーシ監視モジュール (CMM) によって生成された障害などがあります。これらの障害は、次に示すような、シャーシ内のほかのコンポーネントで障害が発生した場合に発生します。

- CMM 障害
- ファンの障害
- 電源装置の障害
- NEM 障害

シャーシに関係する障害は、システムによって自動的に解決されることはありません。これらの障害は、ILOM CMM の障害管理機能を使用して、手動で解決する必要があります。CMM によって報告された障害を解決すると、ILOM SP の障害管理機能のシステムによって、シャーシに関連する障害が自動的に解決されます。

障害をクリアする場合は、次の点に注意してください。

- メモリ DIMM の障害を解決する際、DIMM 障害はシステム全体に及んでいる (/SYS/MB) か、各 DIMM で発生 (/SYS/MB/Pn/Dn) している場合があることに注意してください
- PCIe 障害には /SYS/MB/NETn が含まれます

障害をクリアする手順は、障害のタイプによって異なります。

- `fault.security.integrity-compromised@/sys/sp` 障害を解決するには、サーバーの上部カバーを交換し、サーバーの SP を再起動します
- DIMM、CPU、マザーボード、および PCIe の障害を解決するには、サーバーの ILOM SP にアクセスし、障害の生じたコンポーネントの障害を解決します

ILOM Web インタフェースまたは CLI を使用してサーバー障害を解決する方法については、次の Web サイトで ILOM 3.0 共通機能セットのマニュアルセットを参照してください。

<http://docs.sun.com/app/docs/prod/int.lights.mgr30#hic>

センサーとインジケータに関する参照情報

サーバーには、ハードウェアの状態を報告する複数のセンサーがあります。多くのセンサーの読み取り値が、ファン速度の調節やその他の動作 (LED の点灯やサーバーの電源の切断など) を実行するために使用されます。

この節では、Sun Blade X6270 M2 サーバーモジュールで ILOM が監視するセンサーについて説明します。

次のタイプのセンサーについて説明します。

- 19 ページの「温度センサー」
- 19 ページの「ファンセンサー」
- 19 ページの「FEM および ESM センサー」
- 20 ページの「電源装置センサー」
- 20 ページの「エンティティ存在センサー」
- 21 ページの「システムインジケータ」

注 - ILOM でセンサーの読み取り値を取得する方法、またはシステムインジケータの状態を判断する方法については、『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 CLI 手順ガイド』(820-6412) および『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 Web Interface 手順ガイド』(820-6411) を参照してください。

温度センサー

表 2-3 に、環境センサーを示します。

表 2-3 温度センサー

センサー名	センサータイプ	説明
/SYS/MB/T_AMB	温度	マザーボード周辺温度センサー
/SYS/T_AMB	温度	/SYS/MB/T_AMB のミラー
/SYS/MB/RFEM0/T_AMB	温度	FEM の温度センサー

ファンセンサー

表 2-5 に、ファンセンサーを示します。

表 2-4 ファンセンサー

センサー名	センサータイプ	説明
/SYS/FM[0-5]/F[0-1]/TACH	速度	ファン速度センサー
/SYS/FM[0-5]/ERR	障害	ファンモジュールエラー

FEM および ESM センサー

表 2-5 に、ファブリック拡張モジュール (FEM) とエネルギーストレージモジュール (ESM) センサーを示します。

表 2-5 FEM および ESM センサー

センサー名	センサータイプ	説明
/SYS/MB/RFEM[0-1]/FAULT	障害	FEM に障害が発生した場合に表明
/SYS/MB/RFEM[0-1]/ESM/FAULT	障害	ESM に障害が発生した場合に表明

電源装置センサー

表 2-6 に、電源センサーを示します。

表 2-6 電源装置の電流、電圧、および電源センサー

センサー名	センサータイプ	説明
/SYS/PS[0-1]/PRSNT	存在	電源装置の存在センサー
/SYS/PS[0-1]/S[0-1]/V_IN_ERR	障害	電源装置の入力電圧センサー
/SYS/PS[0-1]/S[0-1]/V_OUT_OK	障害	電源装置の出力電圧障害センサー
/SYS/VPS	障害	電圧および電流モニター

エンティティ存在センサー

表 2-7 に、エンティティ存在センサーを示します。表内で、 n は数値 $0 \sim n$ を表しています。

表 2-7 存在センサー

センサー名	センサータイプ	説明
/SYS/HDD[0-3]/PRSNT	エンティティの存在	ストレージデバイスの存在センサー
/SYS/PS[0-1]/PRSNT	エンティティの存在	電源装置の存在センサー
/SYS/PEM[0-1]/PRSNT	エンティティの存在	PCI ExpressModule の存在センサー
/SYS/NEM[0-1]/PRSNT	エンティティの存在	Network Express Module (NEM) の存在センサー
/SYS/CMM/PRSNT	エンティティの存在	シャーシ監視モジュール (CMM) の存在センサー
/SYS/BL[0-9]/PRSNT	エンティティの存在	ブレードの存在センサー
/SYS/SLOTID	エンティティの存在	ブレードのスロット ID
/SYS/MB/P[0-1]/PRSNT	エンティティの存在	CPU の存在センサー
/SYS/MB/P[0-1]/D[0-8]/PRSNT	エンティティの存在	DIMM の存在センサー
/SYS/MB/RFEM[0-1]/PRSNT	エンティティの存在	ファブリック拡張モジュール (Fabric Expansion Module、FEM) の存在センサー

表 2-7 存在センサー (続き)

センサー名	センサータイプ	説明
/SYS/MB/REM/PRSNT	エンティティの存在	RAID 拡張モジュール (RAID Expansion Module、REM) の存在センサー
/SYS/MB/FMOD/PRSNT	エンティティの存在	フラッシュモジュール (FMOD) の存在センサー
/SYS/MB/RFEM[0-1]/ESM/PRSNT	エンティティの存在	エネルギーストレージモジュール (ESM) の存在センサー

システムインジケータ

表 2-8 に、システムインジケータを示します。

表 2-8 システムインジケータ

センサー名	説明
/SYS/OK	前面パネルの OK/電源 LED - 緑色
/SYS/LOCATE	前面パネルの位置特定 LED - 白色
/SYS/SERVICE	前面パネルの保守 LED - オレンジ色
/SYS/OK2RM	前面パネルの取り外し可能 LED - 青色
/SYS/HDD[0-3]/OK2RM	ストレージドライブの取り外し可能 LED - 青色
/SYS/HDD[0-3]/SERVICE	ストレージドライブの保守 LED - オレンジ色
/SYS/RFEM[0-1]/SERVICE	ストレージドライブ RFEM 保守インジケータ
/SYS/FMOD[0-1]/SERVICE	FMOD 保守インジケータ
/SYS/MB/P[0-1]/SERVICE	CPU 保守インジケータ
/SYS/MB/P[0-1]/D[0-8]/SERVICE	DIMM 保守インジケータ

SNMP および PET メッセージの参照情報

この節では、ILOM が監視しているデバイスから生成される SNMP および Platform Event Trap (PET) のメッセージについて説明します。

- [22 ページの「SNMP トラップ」](#)
- [26 ページの「PET イベントメッセージ」](#)

SNMP トラップ

SNMP トラップは、ILOM によって管理されている SNMP デバイスにインストールされた SNMP エージェントによって生成されます。ILOM は SNMP トラップを受信して、これらをイベントログに表示される SNMP イベントメッセージに変換します。システムで生成される SNMP イベントメッセージについては、[表 2-9](#) を参照してください。

表 2-9 SNMP イベントメッセージ

SNMP トラップメッセージ	ILOM イベントメッセージ	重大度および説明	センサー名
メモリーに関する SNMP イベント			
sunHwTrapMemoryFault	fault.memory.channel.misconfigured	中度。メモリーコンポーネントで障害が発生した疑いがあります	/SYS/MB/P/D
sunHwTrapMemoryFault Cleared	fault.memory.channel.misconfigured	情報。メモリーコンポーネントの障害がクリアされました	/SYS/MB/P/D
sunHwTrapComponentFault	fault.memory.intel.dimm.none	中度。メモリーコンポーネントで障害が発生した疑いがあります	/SYS/MB
	fault.memory.conroller.input-invalid		
	fault.memory.controller.init-failed		
	fault.memory.intel.dimm.population-invalid		

表 2-9 SNMP イベントメッセージ (続き)

SNMP トラップメッセージ	ILOM イベントメッセージ	重大度および説明	センサー名
sunHwTrapComponentFault Cleared	fault.memory.intel.dimmem.none	情報。メモリーコンポーネントの障害がクリアされました	/SYS/MB
	fault.memory.conroller.input-invalid		
	fault.memory.controller.init-failed		
	fault.memory.intel.dimmem.population-invalid		
sunHwTrapMemoryFault	fault.memory.intel.dimmem.incompatible	中度。メモリーコンポーネントで障害が発生した疑いがあります	/SYS/MB/P/D
	fault.memory.intel.dimmem.incompatible-maxranks		
	fault.memory.intel.dimmem.incompatible-quadrank		
sunHwTrapMemoryFault Cleared	fault.memory.intel.dimmem.incompatible	情報。メモリーコンポーネントの障害がクリアされました	/SYS/MB/P/D
	fault.memory.intel.dimmem.incompatible-maxranks		
	fault.memory.intel.dimmem.incompatible-quadrank		
環境に関する SNMP イベント			
sunHwTrapPowerSupplyFault	fault.chassis.env.power.loss	中度。電源装置コンポーネントで障害が発生した疑いがあります	/SYS/PS
sunHwTrapPowerSupplyFault Cleared	fault.chassis.env.power.loss	情報。電源装置コンポーネントの障害がクリアされました	
sunHwTrapComponentFault	fault.chassis.env.temp.over-fail	中度。コンポーネントで障害が発生した疑いがあります	/SYS/
sunHwTrapComponentFault Cleared	fault.chassis.env.temp.over-fail	情報。コンポーネントの障害がクリアされました	

表 2-9 SNMP イベントメッセージ (続き)

SNMP トラップメッセージ	ILOM イベントメッセージ	重大度および説明	センサー名
sunHwTrapTempCritThreshold Exceeded	Lower critical threshold exceeded (重大なしきい値の下限を下回りました)	中度。温度センサーは、測定値が重大なしきい値設定の上限を上回ったか、重大なしきい値設定の下限を下回ったことを報告しています	/SYS/DBP/ T_AMB
sunHwTrapTempCritThreshold Deasserted	Lower critical threshold no longer exceeded (重大なしきい値の下限を上回りました)	情報。温度センサーは、測定値が正常な動作範囲内にあることを報告しています	
sunHwTrapTempNonCrit ThresholdExceeded	Upper noncritical threshold exceeded (重大でないしきい値の上限を上回りました)	軽度。温度センサーは、測定値が重大なしきい値設定の上限を上回ったか、重大なしきい値設定の下限を下回ったことを報告しています	
sunHwTrapTempOk	Upper noncritical threshold no longer exceeded (重大でないしきい値の上限を下回りました)	情報。温度センサーは、測定値が正常な動作範囲内にあることを報告しています	
sunHwTrapTempFatalThreshold Exceeded	Lower fatal threshold exceeded (致命的なしきい値の下限を下回りました)	重度。温度センサーは、測定値が致命的なしきい値設定の上限を上回ったか、致命的なしきい値設定の下限を下回ったことを報告しています	
sunHwTrapTempFatalThreshold Deasserted	Lower fatal threshold no longer exceeded (致命的なしきい値の下限を上回りました)	情報。温度センサーは、測定値が致命的なしきい値設定の上限を下回ったか、致命的なしきい値設定の下限を上回ったことを報告しています	

表 2-9 SNMP イベントメッセージ (続き)

SNMP トラップメッセージ	ILOM イベントメッセージ	重大度および説明	センサー名
sunHwTrapTempFatalThreshold Exceeded	Upper fatal threshold exceeded (致命的なしきい値の上限を上回りました)	重度。温度センサーは、測定値が致命的なしきい値設定の上限を上回ったか、致命的なしきい値設定の下限を下回ったことを報告しています	/SYS/T_AMB
sunHwTrapTempCritThreshold Exceeded	Upper critical threshold exceeded (重大なしきい値の上限を上回りました)	中度。温度センサーは、測定値が重大なしきい値設定の上限を上回ったか、重大なしきい値設定の下限を下回ったことを報告しています	
sunHwTrapTempCritThreshold Deasserted	Upper critical threshold no longer exceeded (重大なしきい値の上限を下回りました)	情報。温度センサーは、測定値が正常な動作範囲内にあることを報告しています	
sunHwTrapTempFatalThreshold Deasserted	Upper fatal threshold no longer exceeded (致命的なしきい値の上限を下回りました)	情報。温度センサーは、測定値が致命的なしきい値設定の上限を下回ったか、致命的なしきい値設定の下限を上回ったことを報告しています	
sunHwTrapComponentError	Assert (表明)	中度。電源装置センサーがエラーを検出しました	/SYS/HOT /SYS/PSn/Sn/ V_OUT_OK
sunHwTrapComponentOk	Deassert (表明停止)	情報。電源装置センサーは正常な状態に戻りました	/SYS/PSn/Sn/ V_OUT_OK /SYS/PSn/Sn/ V_OUT_OK /SYS/PSn/Sn/ V_OUT_OK /SYS/PSn/Sn/ V_OUT_OK /SYS/PSn/Sn/ V_OUT_OK

表 2-9 SNMP イベントメッセージ (続き)

SNMP トラップメッセージ	ILOM イベントメッセージ	重大度および説明	センサー名
デバイス SNMP イベント			
sunHwTrapComponentFault	fault.chassis.device.missing	中度。コンポーネントで障害が発生した疑いがあります	/SYS/
sunHwTrapComponentFault クリア	fault.chassis.device.missing	情報。コンポーネントの障害がクリアされました	
sunHwTrapComponentFault	fault.chassis.device.fail	中度。コンポーネントで障害が発生した疑いがあります	/SYS/CMM
sunHwTrapComponentFault クリア	fault.chassis.device.fail	情報。コンポーネントの障害がクリアされました	
sunHwTrapIOFault	fault.chassis.device.fail	中度。IO サブシステム内のコンポーネントで障害が発生した疑いがあります	/SYS/NEM
sunHwTrapIOFaultCleared	fault.chassis.device.fail	情報。IO サブシステムコンポーネントの障害がクリアされました	
電源装置に関する SNMP イベント			
sunHwTrapPowerSupplyError	Assert (表明)	中度。電源装置センサーがエラーを検出しました	/SYS/PWRBS
sunHwTrapPowerSupplyOk	Deassert (表明停止)	情報。電源装置センサーは正常な状態に戻りました	
sunHwTrapPowerSupplyFault	fault.chassis.env.power.loss	中度。電源装置コンポーネントで障害が発生した疑いがあります	/SYS/PS /SYS/PS
sunHwTrapPowerSupplyFault クリア	fault.chassis.env.power.loss	情報。電源装置コンポーネントの障害がクリアされました	

PET イベントメッセージ

PET イベントメッセージは、Alert Standard Format (ASF) または IPMI Baseboard Management Controller を備えたシステムによって生成されます。PET イベントは、発生する可能性があるシステムの障害を事前に報告します。システムで生成される PET イベントメッセージについては、[表 2-10](#) を参照してください。

表 2-10 PET イベントメッセージ

PET イベントメッセージ	ILOM イベントメッセージ	重大度および説明	センサー名
システムの電源に関するイベント			
petTrapPowerUnitStateDeassertedAssert	PowerSupply sensor ASSERT	重度。実行時の電源障害が発生しました	/SYS/PWRBS
petTrapPowerSupplyStateAssertedAssert	PowerSupply sensor DEASSERT	情報。電源装置は AC 電源に接続されています	
エンティティの存在に関するイベント			
petTrapProcessorPresenceDetectedDeassert	EntityPresence Insert	重度。プロセッサが存在しないか、削除されました	/SYS/HOSTPOWER /SYS/CMM/PRSNT /SYS/MB/REM/PRSNT /SYS/MB/RFEM0/PRSNT /SYS/MB/RFEM1/PRSNT /SYS/PEM0/PRSNT /SYS/PEM1/PRSNT /SYS/MB/P0/PRSNT /SYS/MB/P1/PRSNT /SYS/MB/P0/D0/PRSNT /SYS/MB/P0/D1/PRSNT /SYS/MB/P0/D2/PRSNT /SYS/MB/P0/D3/PRSNT /SYS/MB/P0/D4/PRSNT /SYS/MB/P0/D5/PRSNT /SYS/MB/P0/D6/PRSNT /SYS/MB/P0/D7/PRSNT /SYS/MB/P0/D8/PRSNT /SYS/MB/P1/D0/PRSNT /SYS/MB/P1/D1/PRSNT /SYS/MB/P1/D2/PRSNT /SYS/MB/P1/D3/PRSNT /SYS/MB/P1/D4/PRSNT /SYS/MB/P1/D5/PRSNT /SYS/MB/P1/D6/PRSNT /SYS/MB/P1/D7/PRSNT /SYS/MB/P1/D8/PRSNT /SYS/HDD0/PRSNT /SYS/HDD1/PRSNT /SYS/HDD2/PRSNT /SYS/HDD3/PRSNT> /SYS/MB/RFEM0/ FMOD0/PRSNT /SYS/MB/RFEM0/ FMOD1/PRSNT /SYS/MB/RFEM0/ESM/ PRSNT

表 2-10 PET イベントメッセージ (続き)

PET イベントメッセージ	ILOM イベントメッセージ	重大度および説明	センサー名
petTrapProcessorPresenceDetectedDeassert (続き)			/SYS/NEM0/PRSNT /SYS/NEM1/PRSNT /SYS/BL0/PRSNT /SYS/BL1/PRSNT /SYS/BL2/PRSNT /SYS/BL3/PRSNT /SYS/PS0/PRSNT /SYS/PS1/PRSNT /SYS/PS2/PRSNT /SYS/PS3/PRSNT
petTrapEntityPresenceDeviceInsertedAssert	EntityPresence Remove	情報。デバイスが存在しているか、挿入されました	/SYS/HOSTPOWER /SYS/CMM/PRSNT /SYS/MB/REM/PRSNT /SYS/MB/RFEM0/PRSNT /SYS/MB/RFEM1/PRSNT /SYS/PEM0/PRSNT /SYS/PEM1/PRSNT /SYS/MB/P0/PRSNT /SYS/MB/P1/PRSNT /SYS/MB/P0/D0/PRSNT /SYS/MB/P0/D1/PRSNT /SYS/MB/P0/D2/PRSNT /SYS/MB/P0/D3/PRSNT /SYS/MB/P0/D4/PRSNT /SYS/MB/P0/D5/PRSNT /SYS/MB/P0/D6/PRSNT /SYS/MB/P0/D7/PRSNT /SYS/MB/P0/D8/PRSNT /SYS/MB/P1/D0/PRSNT /SYS/MB/P1/D1/PRSNT /SYS/MB/P1/D2/PRSNT /SYS/MB/P1/D3/PRSNT /SYS/MB/P1/D4/PRSNT /SYS/MB/P1/D5/PRSNT /SYS/BL0/PRSNT

表 2-10 PET イベントメッセージ (続き)

PET イベントメッセージ	ILOM イベントメッセージ	重大度および説明	センサー名
petTrapEntityPresence DeviceInsertedAssert (続き)	EntityPresence Remove	情報。デバイスが存在しているか、挿入されました	/SYS/MB/P1/D6/PRSNT /SYS/MB/P1/D7/PRSNT /SYS/MB/P1/D8/PRSNT /SYS/HDD0/PRSNT /SYS/HDD1/PRSNT /SYS/HDD2/PRSNT /SYS/HDD3/PRSNT /SYS/MB/RFEM0/ FMOD0/PRSNT /SYS/MB/RFEM0/ FMOD1/PRSNT /SYS/MB/RFEM0/ESM/ PRSNT /SYS/NEM0/PRSNT /SYS/NEM1/PRSNT /SYS/BL1/PRSNT /SYS/BL2/PRSNT /SYS/BL3/PRSNT /SYS/PS0/PRSNT /SYS/PS1/PRSNT /SYS/PS2/PRSNT /SYS/PS3/PRSNT
環境に関するイベント			
petTrapTemperature StateDeassertedDeassert	Temperature sensor ASSERT	情報。温度イベントが発生しました	/SYS/HOT
petTrapTemperature StateDeassertedDeassert	Temperature sensor DEASSERT	重度。温度イベントが発生しました	

表 2-10 PET イベントメッセージ (続き)

PET イベントメッセージ	ILOM イベントメッセージ	重大度および説明	センサー名
petTrapTemperatureUpperNonRecoverableGoingLowDeassert	Temperature Upper non-critical threshold has been exceeded (温度が重大でないしきい値の上限を上回りました)	中度。温度が回復不可能なしきい値の上限を下回りました	/SYS/MB/T_AMB
petTrapTemperatureStateAssertedAssert	Temperature Upper non-critical threshold no longer exceeded (温度が重大でないしきい値の上限を下回りました)	重度。温度イベントが発生しました。可能性のある原因は、CPU の過熱です	
petTrapTemperatureUpperCriticalGoingHigh	Temperature Lower fatal threshold has been exceeded (温度が致命的なしきい値の下限を下回りました)	中度。温度が重大なしきい値の上限を上回っています	
petTrapTemperatureUpperCriticalGoingLowDeassert	Temperature Lower fatal threshold no longer exceeded (温度が致命的なしきい値の下限を上回りました)	警告。温度が重大なしきい値の上限を下回りました	
petTrapTemperatureLowerNonCriticalGoingLow	Temperature Lower critical threshold has been exceeded (温度が重大なしきい値の下限を下回りました)	警告。温度が重大でないしきい値の上限を下回りました	
petTrapTemperatureLowerNonCriticalGoingHighDeassert	Temperature Lower critical threshold no longer exceeded (温度が重大なしきい値の下限を上回りました)	情報。 温度が正常に戻りました	
petTrapTemperatureUpperNonCriticalGoingHigh	Temperature Upper critical threshold has been exceeded (温度が重大なしきい値の上限を上回りました)	警告。温度が重大でないしきい値の上限を上回っています	
petTrapTemperatureUpperNonCriticalGoingLowDeassert	Temperature Upper critical threshold no longer exceeded (温度が重大なしきい値の上限を下回りました)	情報。 温度が正常に戻りました	
petTrapTemperatureLowerCriticalGoingLow	Temperature Lower fatal threshold has been exceeded (温度が致命的なしきい値の下限を下回りました)	中度。温度が重大なしきい値の上限を下回りました	
petTrapTemperatureLowerCriticalGoingHighDeassert	Temperature Lower fatal threshold no longer exceeded (温度が致命的なしきい値の下限を上回りました)	警告。温度が重大なしきい値の下限を上回っています	
petTrapTemperatureLowerNonRecoverableGoingHighDeassert	Temperature Lower non-critical threshold has been exceeded (温度が重大でないしきい値の下限を下回りました)	中度。温度が回復不可能なしきい値の下限を上回りました	
petTrapTemperatureUpperNonRecoverableGoingHigh	Temperature Lower non-critical threshold no longer exceeded (温度が重大でないしきい値の下限を上回りました)	重度。温度が回復不可能なしきい値の上限を上回っています	

表 2-10 PET イベントメッセージ (続き)

PET イベントメッセージ	ILOM イベントメッセージ	重大度および説明	センサー名
コンポーネント、デバイス、およびファームウェアイベント			
petTrapOEMStateDeassertedAssert	OEMReserved sensor ASSERT	情報。ESM の障害が発生しました (「OEM State Deasserted (作動停止の OEM 状態)」の作動)	/SYS/MB/RFEMn/FAULT /SYS/MB/RFEMn/ESM/FAULT
petTrapOEMPredictiveFailureAsserted	OEMReserved sensor DEASSERT	中度。 OEM 障害予測が表明されました	
petTrapOEMPredictiveFailureDeasserted	OEMReserved reporting Predictive Failure	情報。 OEM 障害予測が停止しました	/SYS/CMM/ERR /SYS/NEMn/ERR /SYS/NEMn/ERR
petTrapSystemFirmwareError	OEMReserved Return to normal	情報。 システムファームウェアエラーが報告されました	/SYS/BLn/ERR /SYS/BLn/ERR /SYS/BLn/ERR /SYS/BLn/ERR
petTrapModuleBoardTransitionToRunningAssert	Module Transition to Running assert	情報	/SYS/NEMn/STATE /SYS/NEMn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE
petTrapModuleBoardTransitionToInTestAssert	Module Transition to In Test assert	情報	/SYS/NEMn/STATE /SYS/NEMn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE
petTrapModuleBoardTransitionToPowerOffAssert	Module Transition to Power Off assert	情報	/SYS/NEMn/STATE /SYS/NEMn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE
petTrapModuleBoardTransitionToOnLineAssert	Module Transition to On Line assert	情報	/SYS/NEMn/STATE /SYS/NEMn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE

表 2-10 PET イベントメッセージ (続き)

PET イベントメッセージ	ILOM イベントメッセージ	重大度および説明	センサー名
ドキュメントに未記載の PET 1378820	Module Transition to Off Line assert	情報	/SYS/NEMn/STATE /SYS/NEMn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE
petTrapModuleBoard TransitionToOffDuty Assert	Module Transition to Off Duty assert	情報	/SYS/NEMn/STATE /SYS/NEMn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE
petTrapModuleBoard TransitionToDegraded Assert	Module Transition to Degraded assert	情報	/SYS/NEMn/STATE /SYS/NEMn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE
petTrapModuleBoard TransitionToPowerSave Assert	Module Transition to Power Save assert	情報	/SYS/NEMn/STATE /SYS/NEMn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE
petTrapModuleBoard InstallErrorAssert	Module Install Error assert	情報	/SYS/NEMn/STATE /SYS/NEMn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE /SYS/BLn/STATE
電源装置に関する イベント			
petTrapVoltageState DeassertedDeassert	Voltage sensor ASSERT	情報。電圧イベントが発生しました	/SYS/PSn/V_OUT_OK /SYS/PSn/V_OUT_OK /SYS/PSn/V_OUT_OK /SYS/PSn/V_OUT_OK
petTrapVoltageState AssertedDeassert	Voltage sensor DEASSERT		
ドキュメントに未記載の PET 132097	Voltage reporting Predictive Failure	情報	/SYS/PSn/V_IN_ERR /SYS/PSn/V_IN_ERR
ドキュメントに未記載の PET 132096	Voltage Return to normal	情報	/SYS/PSn/V_IN_ERR /SYS/PSn/V_IN_ERR

表 2-10 PET イベントメッセージ (続き)

PET イベントメッセージ	ILOM イベントメッセージ	重大度および説明	センサー名
ファンに関するイベント			
petTrapFanPredictive FailureDeasserted	Fan reporting Predictive Failure	情報。ファンの障害予測状態がクリアされました	/SYS/FMn/ERR /SYS/FMn/ERR
petTrapFanLowerNon RecoverableGoingLow	Fan Return to normal	重度。ファン速度が回復不可能な状態下限のしきい値を下回るまで低下しました。ファンに障害が発生したか取り外されました	/SYS/FMn/ERR /SYS/FMn/ERR

索引

A

ASF, 26

B

BIOS

サポートされているファームウェアバージョン, 4

H

Hardware Management Pack, 4

サーバー管理タスク, 5

サポート情報, 6

ソフトウェアのダウンロード, 6

ドキュメント, 7

I

ILOM

サポートされているファームウェアバージョン, 4

マニュアルセット, 2

概要, 1

P

PET

イベントメッセージ, 26

「Preboot」メニュー, 15

S

SNMP

トラップメッセージ, 22

か

関連ドキュメント, vii

き

機能

プラットフォーム固有, 3

さ

サーバー障害

DIMM, 18

クリア手順, 18

手動で解決, 17

サイドバンド管理

使用するメリット, 7

使用可能なポート, 7

接続の損失, 8

設定, 8

目的, 7

し

シャーシ侵入センサー

利点, 18

サーバー障害

消去, 17

シリアルポート

セットアップ要件, 15

切り替え, 15

せ

センサー

ESM, 19

FEM, 19

エンティティの存在, 20

温度, 19

センサーとインジケータ
システム, 21

て

センサー
電源装置, 20

と

ドキュメント
関連ドキュメント, vii
フィードバック, ix

ふ

センサー
ファン, 19